

保全活動日記案



信太山丘陵里山自然公園では、多様性の高い三次草原の復元をめざして環境保全活動に取り組んでいます。

今回は南西側草原エリアで、大阪第28回ガールスカウトのメンバーや大阪府立大学の学生 ((公財) 大阪自然環境保全協会のインターンシップ) といっしょに、ネザサやクズの等の刈取りを行いました。

実施日
2019
12/1
(SUN)

時間
10:00-12:00

天気
はれ

参加人数
43
人



信太山丘陵市有地全体位置図

南西側草原エリアでのネザサなどの草刈



みんなで協力して草刈り、刈取った草を集めました。



ガールスカウトの小学生メンバーも大人といっしょに活動しました。

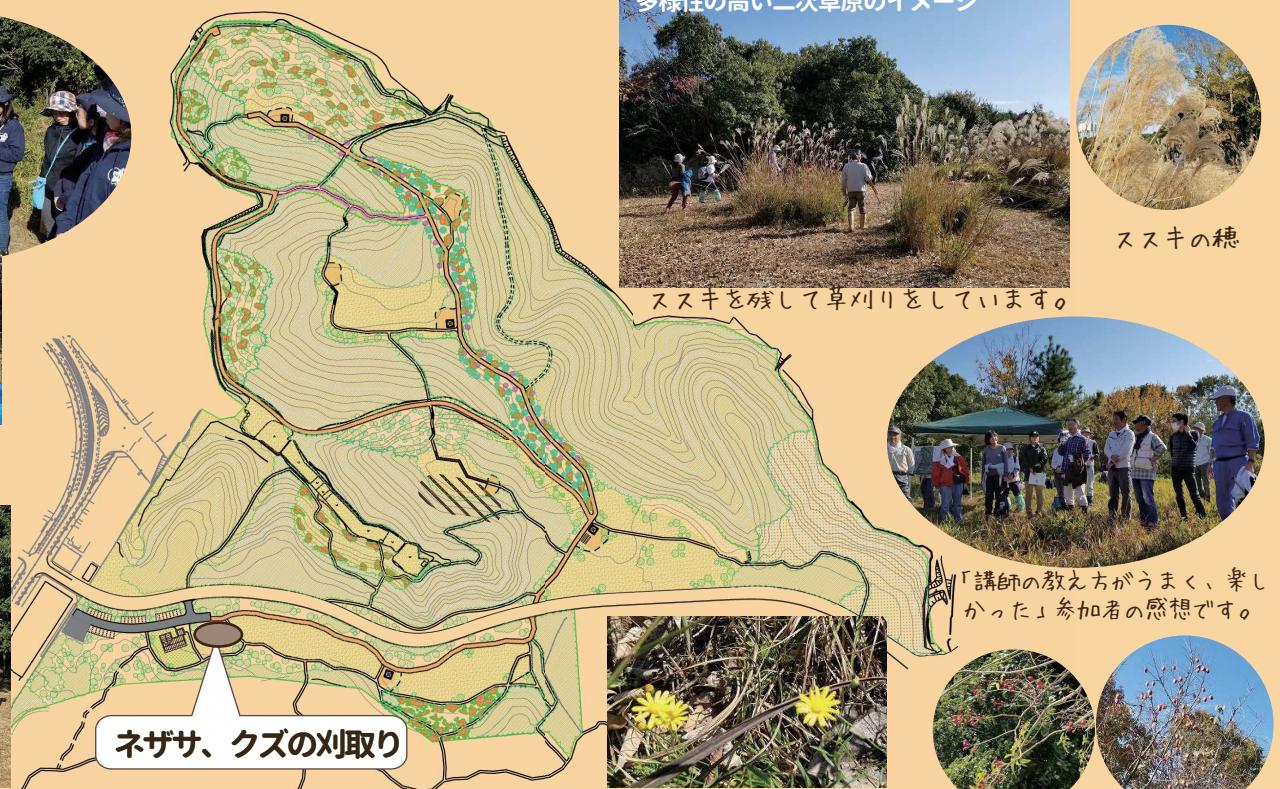


刈取り前



刈取り後

次回の活動で今年の南西側草原エリアの草刈りは概ね完了です。



多様性の高い二次草原のイメージ



ススキを残して草刈りをしています。



ススキの穂



外来種のナルトサワギク
駆除が必要です。



「講師の教え方がうまく、楽しかった」参加者の感想です。



アキグミ



カキ

信太山里山講座（必修講座）の実施報告

信太山丘陵里山自然公園予定地で2つの講座を開催しました。

講座1：保全活動の実施について

講師 田丸八郎 (NPO 信太の森のFANクラブ)



多様性のある二次草原の復元には、「草刈と間伐」「希少な生物の生息環境の保全と保護」「外来種の除去」の3つが必要です。

スキとウンヌケモドキは似ていますけど、葉の特徴が違う。

講座2：公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ

講師 三輪健一郎 (NPO いずみの国自然館クラブ)



草刈り機を体の右側にして、作業してください。怪我のないように安全で楽しく作業をしましょう。



マンツーマンで草刈り機の使い方を教えます。



刈刀が跳ね返る「キックバック」対策を指導



コツをつかむとどんどん刈取りが進みます。

信太山丘陵里山自然公園の道づくり

快適で安全に公園内を散策できるように、一部、園路づくりにも取り組んでいます。

今回も尾根筋草原エリアに向う園路で大栄環境株式会社から提供いただいたプラスチック杭を使い、階段の試作を行いました。



「保全活動ミーティング」で階段設置場所の確認です。



杭を固定する材料は間伐材を使います。



「貴重な植物を踏みつけないように」との思いを込めて作りました。



自然素材を活かした

クラフトづくりの勉強

公園がオープンした時いろいろな自然素材で、クラフトづくりを楽しむように今から準備をしています。



葉っぱでつくった虫かご



子ども、大人ともに試行錯誤しながら葉っぱを使った虫かごづくりにチャレンジしました。

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、市のホームページをご覧下さい。

以下のワードで検索 /

信太山丘陵市有地

検索

QRコードで読み取り /

